

三小だより 10月号

全国学力・学習状況調査の結果から

校長 藤本 賀津雄

9月17日、18日の一泊二日で、6年生の子どもたちは修学旅行に行ってきました。あいにく、お天気は雨で、スペイン村では時折豪雨になりました。子どもたちが楽しみにしていたピレネーも残念ながら中止になってしまいました。でも子どもたちは雨の谷間を縫って乗り物に乗ったり買い物をしたり、予定していたコースをすべてこなし、楽しい思い出を作ってくることができました。6年生のみなさんは小学校生活最後の締めくくりの学年として、後半も友達と仲良く楽しい思い出をいっぱい作ってほしいと願っています。

さて、今年度の全国学力・学習状況調査の結果が出てまいりました。各教科や領域ごとの詳しい結果の分析や考察については紙面の都合上、後日学校のホームページでお知らせをいたします。ここでは生活質問紙調査の中から見えてきた成果と課題にしぼってお知らせしたいと思います。本校では読書をよくしている児童の割合や学校の宿題をきちんとしている児童の割合は比較的高いという結果が出ました。また、授業で自分の考えを話したり書いたりすることが多いという割合も高く出ています。しかし、一方で基本的な生活習慣に課題が見えてまいりました。

「朝食を毎日食べている」や「毎日、同じぐらいの時間に寝たり起きたりしている」という項目では比較的低い割合が出ています。また、「1日当たりどれぐらいの時間、テレビやビデオ・DVD を見たり聞いたりしますか」や「1日当たりどれぐらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか」という項目では高い割合が出ています。さらに「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」という項目では全体的に低い割合となっています。これらをまとめると、次のような子どもの様子が浮かび上がってきます。つまり、家では学校の宿題はするけれど、計画を立てて自主的に勉強するようなことはしない。夜は遅くまでテレビを見たりゲームをしたりして過ごし、朝の起きる時間は遅い。そのため、朝ご飯を食べる時間がなく、慌てて登校する。

また、「地域行事への参加」や「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」や「新聞を読んでいる」「テレビなどのニュース番組を見る」という割合が低く出ています。これは、親子で地域に出かけたり、新聞記事やニュースについて親子で話したりする場面が少ないという傾向が出ているのではないのでしょうか。

これらの分析に当てはまらないご家庭の方が多いと思いますが、生活質問紙調査の中から見えてきた傾向としてお知らせします。子どもたちの基本的な生活習慣については、各ご家庭で今一度、子どもと一緒に振り返っていただければと思います。

